

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	未破裂脳動脈解離の MRI における血管壁造影所見の病態的意義の検証
研究責任者 (所属科名)	溝上 達也 (広島市立安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科 主任部長)
本研究の目的・意義	従来の CT、MRI、脳血管撮影では、頭蓋内動脈の血流内腔の評価で、解離部分の壁の状態を評価することはできません。また未破裂脳動脈解離症例で増悪するかどうか予測するのは現時点では困難です。未破裂脳動脈解離症例で、こういった症例が増悪し治療が必要となるのか、そしてどの程度の画像フォローが必要かなど判別できれば有用と考えられます。我々の研究は、未破裂脳動脈解離症例の MRI を用いた脳血管壁イメージングを用いて、解離部分の脳血管の状態を画像化し画像所見と臨床経過について後方視的に検討し解離が増悪する所見について統計解析を行いました。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2017年4月～2019年6月 研究期間：2020年3月までを予定しています。
該当資料・データ	2017年4月～2019年6月までに当院にて未破裂脳動脈解離を有する患者のうち MRI で精査を行った患者。患者背景（年齢・性別・喫煙歴・高血圧・糖尿病・高脂血症）、画像所見（MRI・CT・DSA）などのデータ収集し解析を行います。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	特にありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科 部長 松重 俊憲 (PHS3031)
備考	